



東部消防組合消防本部では、火災による犠牲者をなくすため、戸別訪問を中心とした住宅用火災警報器の設置及び維持管理の普及促進を行っています。今回各地区の民生委員と協力し独居高齢者宅などを訪問し、(一社)沖縄県消防設備協会から無償譲与された住宅用火災警報器を防火指導と併せて設置しました。

住宅用火災警報器は、火災の早期発見に有効です。まだ設置がお済みでない方は、大切な命や財産を守るためにも設置をお願いします。詳しくは東部消防組合HP「住宅防火関係」ページをご確認ください。



設置地区

- ・我謝 2世帯
・美咲 2世帯
・平園 3世帯
・小波津団地 3世帯
・桃園地区 2世帯

まちの話題 Topics in the Town



イベント フォトギャラリー

7月 10日

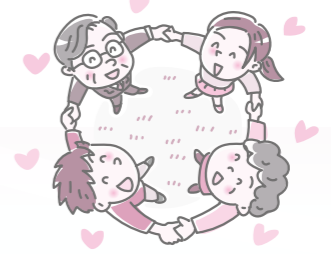
民生委員・児童委員 厚生労働大臣特別表彰伝達式



写真左より 宮城洋子氏・仲田タカ氏・上間明町長・座喜味一郎氏

令和元年度厚生労働大臣特別表彰伝達式が行われ、民生委員・児童委員を15年以上という長い期間務め、地域において常に住民の立場にたって相談に応じ、社会福祉の増進に尽力された4名の方々が表彰されました。上間明町長は、「長きにわたり民生委員・児童委員として地域福祉向上に尽力されましたことに敬意を表します。今後もこれまでの経験を生かし、地域住民が安心安全に暮らしていけるよう、ご協力をお願いします」と功績を称えました。

Table with 3 columns: 受賞者一覧 (五十音順), 在職年数, 担当地区. Lists award recipients like 座喜味一郎 (18 years, 小波津団地) and others.



7月 19日

西原南ファイターズ 初優勝!



中城ブロック(西原町・中城村・北中城村)の軟式野球チームで競う第6回沖縄タイムスワラビー杯争奪学童軟式野球大会(沖縄県野球連盟中部南支部学童中城ブロック主催・沖縄タイムス社共催)が東崎公園で行われました。炎天下、熱戦が繰り広げられ、西原南ファイターズが初優勝に輝きました。

7月 20日

東部消防職員共済会青年部 西原がじゅまーる教室へ物資を支援



東部消防職員共済会青年部が、第2回青年部活動の一環として、子どもたちへの学習支援や食事提供、居場所づくりを行っている西原がじゅまーる教室(NPO法人エンカレッジ)へハンドジェル、飲み物、保存食などの物資を支援し、子どもたちへ笑顔を届けました。青年部部長を務める津波古杉さんは「今回の活動で子どもたちに少しでも貢献できたことを嬉しく思います」と述べていました。



尚円王即位550年記念 内間御殿の整備の歴史

前回もお話ししましたが、本町の代表的な文化財である内間御殿は、王府が編纂した歴史書などから幾度かの整備が行われたことがわかります。

整備の流れは、尚質王代一六六六年に、向象賢が金丸(尚円王)の旧宅地に神殿を建設するよう国王へ進言したことから始まります。最初の整備は、茅葺きの神殿(東殿)の建設でした。その後、尚質王代の一六七九年に東殿の周辺に竹垣を廻らす整備が行われ、その十年後には東殿が檜木で改築され、屋根に瓦が葺かれます。また、一七〇六年には西原の人々が資金を出し合って茅葺きの西殿を建てます。

次の尚質王代では、一七三五年に起きた東殿での宝枕盗難事件をきっかけに、今後の対策として石垣で囲う工事や、瓦葺きの鍵付き門の設置工事などがこの年から翌年まで行われます。さらに、次の年には西殿の修繕と、その周りに竹垣を植える整備が行われます。

そして、記録上最後の整備が、一七三八年の御枕(宝枕)を保管するための祭壇の制作や国王が書いた文章を刻んだ石碑の建設、国王直筆の文字「致和」を彫り込んだ扁額の設置となります。ちなみに、整備終了後に国王が内間御殿へ出向いたとの記録もあります。

以上のように、これだけの整備の流れがたどれる王府関連の施設は他に例を見ないことから、これらの整備記録は、内間御殿の文化的意義を高める貴重な歴史資料といえます。 ※尚円王の枕、御神体的なものと推定される。

内間御殿整備年表

Table with 4 columns: 西暦, 王名・年代, 内容, 備考. Lists restoration events from 1666 to 1738.

お問い合わせ 文化課 文化財係 944-4998